

フェリス女学院大学 2026 年度出張授業メニュー

実施概要

実施時期	2026 年 3 月～12 月（次年度の実施もご相談ください。） ※大学の行事及び教員の校務等の都合でお受けできない場合がございますので、あらかじめご了承ください。
実施方法	本学教員による授業及びクラスでの公開レッスン（時間は 50～90 分） ※形態等につきましては、ご相談ください。
対象学年	高校 1 年生～3 年生（一部を除く）
お申込み方法	実施希望日の 2 ヶ月前までにお申し込みください。 別紙申込書（下記 URL 参照）に必要事項をご記入の上、FAX またはメールでご連絡ください。 授業内容についてご要望がございましたら、申込用紙の「その他ご要望等」にご記入ください。
謝礼・交通費等	謝礼につきましてははいたしておりません。 学校規定による謝礼のご用意がある場合は、申込書にご記入ください。 また、交通費は 1 回の講義につき講師 1 名分のみ本学で負担します。 それを超える場合、超える人数分の経費（交通費実費）はご相談させていただくことがあります。
備考	訪問者は授業担当教員のみです。一部を除き、教員以外のスタッフ、伴奏者等は、原則として同伴しませんのでご了承ください。 授業内容によりプロジェクター、スクリーン、DVD・BD プレーヤーなどの機材の用意をお願いすることがあります。 本学から一定距離以上の場合は、原則として遠隔（オンライン）での実施のみ受け付けさせていただきます。その場合は、GoogleMeet を使用できる環境の用意をお願いいたします。

■お申込み

<https://www.ferris.ac.jp/high-school-teacher-visitor/>

■お問合せ

フェリス女学院大学 入試課

電話：045-812-9183

EMAIL：univ-nys@ferris.ac.jp



国際関係

講座名	講師名 (専門分野)	授業概要
日中関係の歴史をふりかえる	泉谷 陽子 (中国をはじめとしたアジア近現代史)	中国は日本にとって重要かつ不可欠な隣国です。かつては日中友好が盛んに唱えられ、お互いのイメージもよかったのですが、現在では、関係が悪化し相互イメージがとても悪くなっています。どうしてこのような事態になったのでしょうか？歴史をふりかえるとともに、自分の中国イメージがどのようにつくられているかも考えてみましょう。
アメリカ社会を変える人々の力と文化	梅崎 透 (アメリカ史・歴史学)	ブラック・ライヴズ・マター運動、LGBTQ+の活動、Z世代の若者文化など、21世紀のアメリカ社会を形作るのはなにか、その背景から考えます。こうした運動や文化がもたらす論争は、ディズニーのような娯楽産業や、地球規模の環境をめぐる正義の概念にも影響を与えています。
東アジアの分断国家	新城 道彦 (東アジアの近現代史)	朝鮮半島には大韓民国(韓国)と朝鮮民主主義人民共和国(北朝鮮)という2つの国が存在します。両国を分かつ北緯38度の境界線はいつ誰が引き、なぜ現在の形で固定化したのでしょうか。当時の世界情勢を視野に入れつつ概観します。
政府と市民の国際開発協力	高柳 彰夫 (国際関係論・国際開発研究)	国際開発協力には、政府や政府機関によるODA(政府開発援助)や、市民が組織したNGO(非政府組織)またはCSO(市民社会組織)によるものがあります。ODAやNGO/CSOの活動を概観するとともに、それらの相互のパートナーシップの現状についても国際的な動向と日本の現状を比較しながら考えます。
2030年世界と日本の目標～SDGs時代の開発と環境～	高柳 彰夫 (国際関係論・国際開発研究)	2015年9月に国連総会で、17のゴールからなる持続可能な開発目標(SDGs)を含む「2030アジェンダ」が採択されました。SDGsは、経済・社会・環境の広い範囲にわたり、2030年までの世界の目標です。SDGsの内容と背景にある理念と現時点での達成状況を紹介するとともに、達成に向けた世界の課題を考えます。
「国際問題を知ること」は良い結果を生むか	古内 洋平 (国際政治学)	授業をしていると「国際問題を解決するためには、まずは私たちが問題を知ることが大事だと感じました」という感想をよくもらいます。皆さんが国際問題を知ることによって、世界はどのように変わるのでしょうか？私たちと世界のつながりを考えます。
権利をもつ権利	矢野 久美子 (ドイツ政治文化論・思想史)	おもなテキストとして政治哲学者ハンナ・アーレントのエッセイ「われら難民」を読みときながら、所属する共同体や行き場、居場所、生きる場所を失った「難民」が置かれた政治的・精神的状況について想像し、考えます。
移民大国フランスから考える共生文化	空 由佳子 (ヨーロッパ史)	近年の日本では移民問題への関心が高まりつつあるが、ヨーロッパ、特にフランスは、様々なルーツの外国人・移民を包摂することで、豊かな社会や文化をつくりあげてきた。本講義では、現代の移民大国フランスの形成と近年の問題を取り上げ、異なるルーツを持つ人々が共に生きるためには何が必要か考える。
スペイン語の世界への招待：HOLA！	ヒガ,マルセーロ (ラテンアメリカ地域研究)	挨拶は大事です。スペイン語圏の人にスペイン語で正しい発音で挨拶をしてみると、世界が変わるかも知れません。短い時間に、基本的な挨拶や自己紹介の仕方を覚えてみませんか。

地域社会・環境

講座名	講師名（専門分野）	授業概要
ナチスの犯罪を二度と繰り返さないために！	荒井 真 (比較法・ヨーロッパ法史・ヨーロッパ大学史)	ナチスというとアウシュビッツなどの強制収容所・絶滅収容所におけるユダヤ人虐殺がよく知られていますが、それ以外にもシンティ・ロマの人々、心身障がい者、同性愛者など多くの人々を「生きるに値しない」として殺害しました。その背景と原因を探り、このようなジェノサイドを二度と起こさないためにはどうしたらよいかを探っていきます。
島が沈む？ 地球温暖化による南太平洋諸国の危機	佐藤 輝 (地球環境問題・資源保全学)	現地の写真や映像をご覧いただきながら、一人一人の心がけだけではなく、企業や先進国がどのように対策に取り組んでいるのかを検証してみます。この問題で最も弱い立場にある南太平洋諸国の未来についていっしょに考えてくださいませんか？
国境を越える環境の不公正	知足 章宏 (環境と開発、環境ガバナンス、環境経済・政策学)	現代世界の環境問題をローカル、グローバルな視野から捉えると、様々な矛盾が見えてきます。深刻な環境汚染被害を受ける地域・人々は、なぜ豊かな国の裕福な人々ではなく、開発途上国の貧困地域の人々なのでしょう。この授業では、この「不公正」の要因と実態を考えます。
環境にも人にも優しいライフスタイルの実践	高雄 綾子 (環境教育学、持続可能な発展のための教育 (ESD))	スマホやグルメや旅行を楽しむ豊かで便利な生活は、環境破壊の上に成り立っています。でも生活の質を落とさずに、環境にも人にも優しいライフスタイルを実現することはできるのでしょうか？ ドイツの例から、持続可能な未来のための文化や社会を作っていく方法を考えます。

国際ビジネス・観光

講座名	講師名（専門分野）	授業概要
ヨーロッパから見る地域の可能性	上原 良子 (ヨーロッパの地域創生と観光)	ヨーロッパの地方都市には、小規模であっても日本同様、観光客や移住者を引きつける町があります。これらの町も永年、若者の人口流出や格差、シャッター街、環境の悪化等に悩まされてきました。しかし、交通問題や観光振興、環境問題等、新しい統合的なアプローチで地域の課題解決を試みています。EUとヨーロッパ諸国の事例から様々な可能性を考えてみましょう。
貧困の現状と解決—経済成長の面から理解しよう—	袁 媛 (金融論、開発経済、国際経済、アジア経済)	貧困とは何でしょうか？世界の貧困状況はどうなっているのでしょうか？貧困から脱出するためにどうすればよいのでしょうか？なぜ東アジアが貧困人口を削減できたのでしょうか？この授業ではこれらの疑問について考えていきます！
なぜ投資をする必要があるのか？：投資家の視点から見る日本経済	齊藤 直 (日本経済史・日本経営史)	「貯蓄から投資へ」と言われるようになって4半世紀が経過します。近年では「老後2000万円問題」が騒がれたことも記憶に新しいです。NISAのような、投資を優遇する制度が導入されたことを知っている人もいるでしょう。なぜ投資を推奨する動きがこれほどまでに盛んなのでしょうか。その重要な背景として、日本経済が置かれている状況があります。この授業では、注目される「投資」を素材として日本経済の現状を考えてみます。消費者や、労働者としてではなく、投資家として日本経済を眺めてみましょう。
マーケティング視点から見る、観光ビジネスの未来	二木 真 (マーケティング論・国際ビジネス論・観光ビジネス論)	マーケティングとは何かについて、観光ビジネスの視点から考えます。どうやったら人は旅行に行くのか？どうやったら外国からの観光客が増えるのか？ケーススタディを中心に展開します。
観光で結ばれるオーストラリアと日本	ベンヤミン ミドルトン (社会学、社会運動史、思想史、日本近現代史)	日本とオーストラリアは、経済・政治・文化など広い分野で強い結びつきを持っています。そこで、ツーリズムは両国を結びつける最も重要な要素の一つです。日本人アウトバウンド観光客がオーストラリアに大勢に訪れるようになったのは、バブル経済の黄金期でした。近年は逆転現象が起き、オーストラリアからのインバウンド観光客が急増しています。本授業では、日豪を結ぶ観光の背景と現状や課題と対策を考察します。
人や社会をみるデータサイエンス	藤井 佑実子 (情報学、認知科学、認知心理学)	今、データを読み解き、活用する力がさまざまな分野で求められています。地域や観光に関する身近な話題を題材に、グラフや地図を手がかりにしながら、データから人や社会の動きをどう読み取れるのか、一緒に考えてみましょう。

講座名	講師名 (専門分野)	授業概要
<p>データ・サイエンティストへの第1歩 [データサイエンス副専攻 プレ授業]</p>	<p>齋藤 孝滋 (言語研究(音声学他、人間科学としての言語研究)、国際的共生(柔道)言語文化論)</p>	<p>データ・サイエンティストは、日本でも7~8年後には現在の米国のようにベスト10に入る人気職種になると予想されています。授業では、事前に皆さんに言語コミュニケーションに関するアンケートをGoogleフォームで実施し、そのデータを用いて、フェリス女学院大学が導入し学生が自由に使用できる世界標準の研究者仕様統計ソフトIBM社製「Spss」「Amos」を用いて、「どんなタイプの人がどんなコミュニケーション方法をとるのか」という因果関係をリアルタイムで明らかにします！上記統計ソフトをフル活用し(基本的に一切数式を用いず、適切な操作により)、実際に「原因と結果のデータ分析・導入ゼミ」で実施し、履修生の皆さんと共に授業内学術成果を「日本語学会」等の全国学会で発表、学術論文として発信しているリアルな学術学習体験[下記QRコード参照]をしていただきます。</p> <p>① ② ③</p>  <p>① 日本語学会 2024 年度秋季大会発表ポスター ② 日本語学会 2024 年度秋季大会プログラム ③ 日本語学会 2024&学術誌掲載紹介本学 HP : News 記事</p>
<p>アナウンサー・国語教師・日本語教師・声優・俳優・ヴォーカリストのための標準語発声法と習得法</p>	<p>齋藤 孝滋 (言語研究(音声学他、人間科学としての言語研究)、国際的共生(柔道)言語文化論)</p>	<p>授業では、アナウンサー・キャスター・国語教師・日本語教師に求められる日本標準語の発声法(母音体系・母音無声化・ガ行鼻濁音)、声優・俳優の役柄による発声法、ヴォーカリストの喉に負担をかけずに通る発声法とその習得法を、音声(声紋)分析ソフトをフル活用し、実際に「基礎ゼミ・ことばと心理(3)」で実施し、履修生の皆さんと共に授業内学術成果を「言語学フェス」等の全国学会で発表しているリアルな学術学習体験[下記QRコード参照]をしていただきます。</p> <p>① ② ③ ④ ⑤</p>  <p>① 言語学フェス 2025 発表ポスター ② 言語学フェス 2024 発表ポスター ③ 言語学フェス 2025 プログラム ④ 言語学フェス 2024 プログラム ⑤ 言語学フェス 2025 本学 HP : News 記事</p>
<p>ダジャレ学：AI を用いたダジャレ表現の画像化をとおして見る日本語表現と文化的背景</p>	<p>齋藤 孝滋 (言語研究(音声学他、人間科学としての言語研究)、国際的共生(柔道)言語文化論)</p>	<p>日本語の豊富な(同音異義表現を駆使した)ダジャレ技法は、他に類をみない言語表現とすることができます。そして、そのダジャレ表現を、そのままAIを用いて画像化しようとする、ほとんどの場合とんでもない画像が現れてしまいます。例えば、「布団が吹っ飛んだ」の場合、ベッド自体が爆発する図が生成されてしまいます。これは、AIが認識する欧米系言語と日本語における「布団」の認識の違いと、寝具をめぐる文化的背景の相違が原因と考えられます。授業では、実際の専門授業「ことばと個人・社会・地理の因果関係」と大学公式サークル「ダジャレ・ヌーボーsince2003」の学生が「言語学フェス」等の全国学会で発表しているリアルな学術体験[下記QRコード参照]を皆さんにさせていただくかたちで、この問題を探求します。</p> <p>① ② ③ ④ ⑤</p>  <p>① 言語学フェス 2025 発表ポスター ② 言語学フェス 2025 プログラム ③ 言語学フェス 2025 本学 HP : News 記事 ④ YCV ダジャレ・ヌーボー取材動画 ⑤ ダジャレ・ヌーボー本学 HP : News</p>

講座名	講師名 (専門分野)	授業概要
英語コミュニケーションの特徴を日本語との比較から考えよう	饒平名 尚子 (談話分析・異文化コミュニケーション・社会言語学)	論理展開の仕方やポライトネス表現の違いを中心に日本語と英語を比較し、言語と文化の関係を考察します。英語コミュニケーションの特徴を日本語との比較からとらえ異文化コミュニケーション上達のためのヒントも考えます。
コミュニケーションとしての距離感: パーソナルスペースって?	山崎 浩一 (臨床発達心理学・教育心理学【保有資格】公認心理師、臨床発達心理士、認定心理士(心理調査)、保育士)	満員電車やぎゅうぎゅう詰めのエレベーターで、隣の人とピッタリくっついてしまったり、そこまでピッタリでなくても、身体を動かすとぶつかってしまうほど近かったりすると、なんか気まずい感じがしませんか? それ、パーソナルスペースという、目には見えない、しかし、みなさん自身を中心に広がっている、ある種の「なわばり」のせいなんです。この「なわばり」、実はひととの距離感を考える上で、とても大切なことを教えてくれます。まずは、パーソナルスペースを実際に測ってみよう。その距離感について考えてみましょう。 ※少なくとも 6メートル四方のスペースがとれる場所(体育館など)が必要。2名程度のアシスタントを同伴します。
コミュニケーション・ブレイクダウン: それちゃんと伝わってる?	山崎 浩一 (臨床発達心理学・教育心理学【保有資格】公認心理師、臨床発達心理士、認定心理士(心理調査)、保育士)	ちゃんと伝えたはずなのに、待ち合わせ場所に相手が来ない。連絡してみると、相手は別の場所で待っている。「〇〇でって言ったじゃん!」、「えっ?? 〇〇って言わなかった??」... 普段の生活の中で、まあよくあることですが、笑ってすますことが出来ないようなことになってしまう可能性もあります。そもそも私たちは、言いたいことをちゃんと伝えられているのでしょうか? また、相手が言いたいことをちゃんと理解しているのでしょうか? 簡単な実験をもとに、コミュニケーションの危うさについて考えてみましょう。 ※当日、生徒の方 1 名にアシスタントを依頼いたします。
聴き上手はよくうなずくのか? —相談場面の非言語メッセージ—	大上 真礼 (臨床心理学・高齢者心理学)	私たちは人の話を聴く時、うなずいたり目を見たりするなど、言葉以外のメッセージもやりとりしています。今回は、聴き手のうなずきの効果について、実験結果の紹介をもとに一緒に考えます。話を聴き、心の援助を行う専門職のお仕事についてもご紹介いたします。
ストレスとうまく付き合うためのコツ —ストレスコーピングでしなやかな心を手に入れる—	仲嶺 実甫子 (臨床心理学、学校臨床心理学、子どものメンタルヘルス、認知行動療法)	新しいことや苦手なことにチャレンジをしたり、日常生活をおくったりするうえで、ストレスを感じることは避けられないところがあるかもしれません。この授業では、ストレスにうまく対処するコツについて心理学の方法をお伝えしながらみなさんと考えてみたいと思います。

メディア

講座名	講師名 (専門分野)	授業概要
映画音楽の秘密—聴いてみよう・観てみよう	谷口 昭弘 (映画音楽、アメリカ音楽、音楽ジャーナリズム)	音楽が映画の魅力の一部であることは間違いないでしょう。しかし物語や俳優の演技に比べて、音楽の役割についてはあまりきちんとした議論がなされていないかもしれません。この授業では、そんな映画の中の音楽の大事な役割について、実際の作品を例にして考えます。
アート思考を体験する	瀬藤 康嗣 (サウンドアート、アート思考)	アーティストの創作プロセスや思考法を参考にしながら、常識に囚われず、独自の見方とやり方を発見していこうとするのが、アート思考です。この授業では、美術作品をみんなで鑑賞しながら自分が発見したり感じたりしたことを共有する「対話型鑑賞」を通じて、人とは違う自分自身のモノの見方や感性に気づく機会をつくります。

講座名	講師名（専門分野）	授業概要
映画研究入門 —『ラ・ラ・ランド』から読み解く アメリカ	関口 洋平 (アメリカ研究、アメリカ文学、映画・映像研究、ジェンダー研究)	映画を見るのが趣味だ、という人は多いと思いますが、映画を「研究」とはどのようなことなのでしょうか？この授業では大ヒットしたミュージカル映画、『ラ・ラ・ランド』を題材として映画研究、さらには人文学研究でどのようなことを学べるのかを紹介したいと思います。一見すると楽天的なミュージカル映画から、どのようなアメリカの姿が浮かび上がってくるのでしょうか？
「イクメン」文化を問い直す	関口 洋平 (アメリカ研究、アメリカ文学、映画・映像研究、ジェンダー研究)	この講義では、日米における「イクメン文化」を、さまざまな観点から読み解きます。日米の「理想の父親像」を比較することによって、どんなことが見えてくるのでしょうか？「男性の育児」は日米の文化のなかでどのように位置づけられてきたのでしょうか？
誰かの為に働く「ケア」を理解し、コミュニケーションを考える	引地 達也 (メディア、ジャーナリズム、ケアに関するコミュニケーション、障がい者支援と教育)	障がい者やマイノリティなど支援が必要な人を意識した「ケア」とは、そもそも人と人のつながりから始まります。誰かの為に存在する人間を見つめ、社会的弱者も住みやすい社会を作るためのコミュニケーションの在り方を、テレビやドラマ等の内容を示しながら、実感していきます。
見て、聞いて、伝える—社会分析とメディア化する自分を見つけて	引地 達也 (メディア、ジャーナリズム、ケアに関するコミュニケーション、障がい者支援と教育)	ソーシャルメディアの発展により誰もが情報を拡散できる時代を見つめ、メディアの適切な利用から、真実を見極め、適切に情報を伝えるための手法を考えます。自分が主体的に何を見て、何を聞いて、そしてどのように伝えるかをニュースの事例をふまえて学びます。
パズル物語は作れる？～“面白さ”を分解してAIで再構築する～	竹野 真帆 (ゲーム学・メディア論・物語論)	人気作品(アニメ・ゲーム・昔話)を題材に、「なぜ面白いのか」を物語構造の観点から分解。その仕組みを使って、AIと一緒に新しい物語を生成するワークを行う。「センスではなく構造で面白さを捉える」体験を通して、創作と分析の関係を学ぶ。
“好き”はどこから来るのか？～ハマる仕組みを心理学で解剖する～	竹野 真帆 (ゲーム学・メディア論・物語論)	ゲーム・推し・音楽などを例に、「なぜ人は特定のものに強く惹かれるのか」を心理学的に分析。報酬系、物語共感、自己投影などの視点から“好き”の構造を明らかにし、自分の嗜好を言語化するワークを行う。
AIと一緒に“面白い”を作る時代～クリエイターの仕事はどう変わる？～	竹野 真帆 (ゲーム学・メディア論・物語論)	画像生成・文章生成などのAIを例に、「AIは創造性を奪うのか／拡張するのか」を考える。実際にAIを使った簡単な制作体験を通して、人間の役割(アイデア・編集・意味づけ)を再定義する。
「言葉を学ぶとは」の「その後」—ウィットゲンシュタインの言語哲学とその後	高田 明典 (現代思想・メディア論・情報通信)	桐原書店「国語総合」に掲載されている文章「言葉を学ぶとは」は、言語哲学においては初期（20世紀初期）の論考によります。言語哲学はそののちも進展しており、ウィットゲンシュタインの考えに対する異論も多数存在しています。この講義では、21世紀での最高の言語哲学者と呼ばれることの多いデイヴィッドソンの考えを中心として、言語研究の最先端をわかりやすく解説します（デイヴィッドソンもウィットゲンシュタインも、実は、とてもわかりやすいことしか言っていません）。
「言葉を学ぶとは」の具体例—ウィットゲンシュタインの言語哲学を現実場面の会話から学ぶ—	高田 明典 (現代思想・メディア論・情報通信)	桐原書店「国語総合」に掲載されている文章「言葉を学ぶとは」は、いわゆる「後期ウィットゲンシュタイン」と呼ばれるものを基礎としています。そこにおける「言語ゲーム」の概念は特に重要ですが、言語哲学を専門としない人の解説を見聞きすると、意外と理解できていないと感じることも多い概念です。しかし、ウィットゲンシュタインの「言語ゲーム」は、私たちの日々の会話を想定するならば、とても分かりやすく、また、当然であると考えられる理論です。本講義では、日常の会話を例にあげながら、「難解」とされることの多いウィットゲンシュタインの言語哲学を十分に理解できるように解説していきます。

共生コミュニケーション

講座名	講師名(専門分野)	授業概要
その言葉、誰かを傷つけていませんか？～多様性の時代のコミュニケーション	小ヶ谷 千穂 (多文化共生、国際社会学、国際移動論)	私たちの周りには、いろいろな背景を持つ人が暮らしています。ふだん何気なく使っている言葉が、知らないうちに誰かを傷つけてしまうことがあります。逆に、自分が言われた言葉にモヤモヤしたり、心に小さな痛みを感じたことがある人もいるでしょう。こうした日常のやりとりの中に潜む“見えにくい差別や暴力”に気づく方法を、一緒に考えてみましょう。
なぜ米国に非正規移民が多いのか？	中川 正紀 (アメリカ研究・ラティーン研究、国際移動論)	アメリカ合衆国における非正規移民(いわゆる「不法移民」)は2022年推計では1,100万人で、全人口の約3.3%および労働人口の約4.8%を占め、その大半が中南米出身者です。現トランプ政権は人々の一部を強制送還し始めていますが、これだけの非正規滞在者となった理由やプロセス、などについてこれまでの米国政府の移民政策にも目を向けながら歴史的に考えてみましょう。
異文化コミュニケーション＝グローバル時代の必須科目	相澤 一 (キリスト教神学)	グローバル化が進む現在、異なる文化や宗教の相互理解が大切だということは言うまでもないでしょう。しかし、それが難しいことは、世界で起こっていることのニュースを見れば明らかです。異文化理解がなぜ必要なのか？なぜ難しいのか？何が問題なのか？こうしたことを考える異文化コミュニケーションは、現代社会に生きる私たちの必須科目と言えるでしょう。
「ハラスメント」を学問する	山本 千晶 (ジェンダー法学)	「どこからがハラスメントか難しい」という声をよく聞きます。ジェンダーやセクシュアリティについて学びを深めることで、ある種の発言がなぜ「ハラスメント」になりうるのかについて一緒に考えてみましょう。
日本と世界の人口変動～人口研究が拓く私たちの暮らしと社会	澤田 佳世 (人口学、家族社会学、国際社会学、ジェンダー研究)	増加する世界人口と、少子高齢化やグローバル化、人口減少がすすむ日本。人口や家族の変動はどのように生じ、私たちが暮らす社会にどんな課題と可能性をもたらしているのでしょうか。人口研究やジェンダー的観点もふまえて、ともに考えてみましょう。
私たちにもできる多文化共生の第一歩—くやさしい日本語	高橋 誠一 (社会学、国際社会学、多文化共生論)	多文化共生に関心があるけれど何をどうしたらよいかわからない、そんな人におすすめなのが「やさしい日本語」です。多文化共生の第一歩として、だけどすぐできそうで実は難しい「やさしい日本語」について学んでみませんか。
外国人(支援)じゃない多文化共生	高橋 誠一 (社会学、国際社会学、多文化共生論)	最近、よく聞く「多文化共生」って何？困っている外国人にやさしく「支援」してあげること？いいえ、違います。外国人「支援」ではない、「多文化共生」の本当の意味を知って、どうすればそんな社会をつくれるのか一緒に考えてみませんか。
外国人とのコミュニケーションは何か特別なのか？	高橋 誠一 (社会学、国際社会学、多文化共生論)	みなさんは、伝えたいことがうまく伝わらなかったという経験をしたことはありませんか。異文化コミュニケーションというけれど、外国人とのコミュニケーションは何か特別なのでしょうか。特有の難しさはあるけれど、けっして特別ではない外国人とのコミュニケーションについて学んでみませんか。
複言語複文化主義：言語文化ポートフォリオを作ろう	工藤 理恵 (日本語教育)	複言語複文化主義について、聞いたことがありますか。言語文化ポートフォリオの作成を通じて、私たちの言語や文化の豊かさについて、考えてみませんか。皆さん、そして、外国ルーツの大学生、移住女性、難民の子どものポートフォリオから、何が見えてくるのでしょうか。言語文化という観点から私、そして日本社会について考えてみましょう。

ヨーロッパ・アメリカ

講座名	講師名 (専門分野)	授業概要
さまざまな英語：英語のバリエーションを知ることとは？	大畑 甲太 (英語教育、応用言語学(第二言語習得))	英語のバリエーションとは何か、1)さまざまな英語の捉え方、2)英語の広がり、地域差、3)アメリカ英語とイギリス英語、4)英語学習との関連、といったトピックを取り上げながら考えます。
英語の歌詞ってどう書くの？	富樫 剛 (イギリス文学・文化)	みなさん、映画やTVドラマのなかで、あるいはふつうに興味として、英語で歌われる曲を聴きますよね？その歌詞がどのようなしくみで、いわばどんなルールに従って書かれているか、知りたくありませんか？それをわかりやすく解説します。扱ってほしい曲のリクエストも受けつけます。ポップ、ロック、ラップ、R&B、ジャズ、ブルース、ディズニー・マーベル系、クラシック、その他何でもOKです。
ギリシャ・ローマ神話とヨーロッパ文学・芸術	富樫 剛 (イギリス文学・文化)	ヨーロッパ文学・芸術のルーツであるギリシャ・ローマ神話から、アポロンとダブネ、ナルキッソスとエコーなどのエピソードをとりあげ、それが後世の文学・芸術でどのように表現されてきたかを紹介します。同じ話であっても、詩人・作家・芸術家によって語りかた・描きかたが違います。それらを理解するための手がかりを提供できればと思います。
イギリス魔女裁判	富樫 剛 (イギリス文学・文化)	魔女・魔法は小説・映画・アニメなどさまざまな作品で恐ろしく、あるいは魅力的に描かれてきていますが、実際の歴史のなかでどのような人物がどのような理由でどのように裁かれたかはあまり知られていません。16-17世紀イギリスの各種証言や記録を用い、魔女裁判の実像の一部を紹介します。
思いもよらないモノがメディアなんです！～メディア概念を広げてみる～ 【※高校2年生・3年生対象】	藤巻 光浩 (コミュニケーション論(メディア研究、レトリック))	メディアについて考えるとき、私たちは非常に狭い意味での「メディア」しか考えることができません。多くの場合、テレビや新聞などのマス・メディアだけをメディアとして考えてしまうのです。それも間違っていないかもしれませんが、もっと広い意味でのメディアについて考える視点を身に付ける必要があります。電車の中の広告、誕生日などの記念日や葬式などの儀式、神社やミュージアムなど、数知れないほどのメディアに私たちは囲まれています。このミニ講義では、思いもよらないものがメディアとして機能していることを示し、メディア研究入門のための一助としたいと思います。
映画における心理描写の方法とは？	藤巻 光浩 (コミュニケーション論(メディア研究、レトリック))	私たちは、通常、相手の心の中で何が起きているのか、わかることはありません。でも映画の中では、登場人物の心や感情がわかるようになっていきます。それができないと、映画を楽しむことができませんね。では、普段生活する中では決してわかることがない、人間の心や感情は、映画の中ではどのように表現されているのでしょうか。「サスペンスの神様」と賞賛されたアルフレッド・ヒッチコック監督の作品『鳥』を取り上げ、人間の心や感情がどのように表現されているのかを学びます。
二つの「ハリー・ポッター」	向井 秀忠 (イギリス文学・文化)	世界的なベストセラーとなったJ. K. ローリングの「ハリー・ポッター」は世界中で愛読されているイギリスのファンタジー小説です。そんなよく知られた「ハリー・ポッター」に、実は二つのバージョンがあることを聞くとびっくりしませんか？二つの「ハリー・ポッター」を比較することを通して、これまで知らなかった英語圏の社会や文化を学びましょう。
二つのチャリティ・ソングから探るイギリスとアメリカの社会の違い	向井 秀忠 (イギリス文学・文化)	1984年、エチオピア大飢饉に援助の手を差し伸べるため、英米では多くのミュージシャンが集まり、大掛かりなプロジェクトが企画されました。イギリスのBand Aidの“Do They Know It's Christmas?”とアメリカのUSA for Africaの“We Are the World”です。2010年の同様のプロジェクトと合わせて、この二つの曲の歌詞やミュージック・ビデオを比較することで、「チャリティ(慈善)」に対する両国の考え方の違いや時代の推移を探っていききたいと思います。
『ピーターパン』は社会の縮図？	向井 秀忠 (イギリス文学・文化)	19世紀のイギリスで書かれたジェイムズ・バリの『ピーターパンとウェンディ』を取り上げ、ウェンディの「みんなのお母さんになってあげよう！」という言葉から、当時の社会について探っていきます。ネバーランドと孤児の関係、そして「家庭の天使」という理想的な女性像のあり方などについて知り、今の私たちの社会についても考えます。

講座名	講師名 (専門分野)	授業概要
美術は問かける—私たちの今を考えるために	木水 千里 (近代美術史・フランス文化論)	印象派からシュルレアリスムに至る近代フランス美術は、西洋内部の変化だけでなく、日本やアフリカとの出会いや、ファッション、デザインとの融合を通じて、多様な文化との交流の中で発展してきました。こうした美術の歴史には、当時の社会や価値観、そしてジェンダー観の変化も色濃く反映されています。美術は常に社会とともにあり、現代を考えるための手がかりにもなります。アートを通して、過去と現在、そして私たち自身を見つめ直してみませんか。
英文学のルーツを探り、魅力に触れる	由井 哲哉 (イギリス文学・文化)	文学の起源は詩と演劇にあります。そこでは、文字としてテキストを読む前に、声に出して朗読することにこそ意味がありました。叙事詩から起こった文学は、高揚した精神をそれにふさわしい韻律に乗せて謡うことによって発展していきました。こうした文学の発展の経緯を概観しながら、英詩やシェイクスピア作品の韻律について、さらには音読によるリズムの重要性を考えます。
英英辞書とこれからの英語学習について	由井 哲哉 (イギリス文学・文化)	初めて英英辞書を使う高校生を対象に、英英辞書の引き方から、英英辞書の威力、魅力についてお話しします。また、英和辞書との違いや多種多様な英英辞書についても紹介します。英英辞書を使いこなす方法を体験することで、大学での英語の学び方の一端を疑似体験できるはずです。
音楽を通じて異文化と出会う～ラテンアメリカへの招待～	遠藤 健太 (ラテンアメリカ地域研究)	異国の音楽を初めて聴いたとき、心を動かされることもあれば、ピンとこないこともあります。そのどちらかが、異文化と出会う大切な体験です。ラテンアメリカの音楽を題材に、音そのもの(テキスト)に耳を澄ますことと、音楽が育まれた歴史や社会的背景(コンテキスト)を学ぶことを行き来しながら、異文化を味わい、自分のものの見方を広げる面白さを一緒に体験してみましょう。
『赤毛のアン』—想像する力	小泉 泉 (現代アメリカ文学)	アニメ作品としてもよく知られる『赤毛のアン』は、ヒューマニズム溢れる物語です。この授業では、アンの持ち前の想像力に着目します。カナダ・プリンスエドワード島の美しい自然の中で、周囲との絆を生み出し、さまざまな人生の困難を乗り越えていくアンの姿を探っていきます。

日本・アジア

講座名	講師名 (専門分野)	授業概要
身のまわりの日本語	勝田 耕起 (日本語学・第一言語教育)	マンガ・動画などで身近な言葉を観察し、意味や用法を自分で探り出す方法について分かりやすく説明します。街の看板や電車の中の広告など、普段の生活空間にも「現代日本語」を考えるヒントが潜んでいます。
『万葉集』から読み解く古代の心性	松田 浩 (日本古代文学)	『万葉集』に残された歌々には、私たちの感覚では理解に苦しむようなものも数多く見られます。そうした歌々を通して古代の人々の心性を探ります。実は、そこで見えてくるのが日本文化の基底と繋がっているのです。
『古事記』の神話世界	松田 浩 (日本古代文学)	『古事記』の神話には、世界の神話・伝承に共通する要素を含みつつ、独特な展開をしているものも多く見られます。そうした部分に焦点を当てつつ、本講座では、日本文化の基層とも言いえる古代の世界観を探ります。
歌舞伎の不思議	吉田 弥生 (日本近世文学・演劇学)	歌舞伎は400年以上前に日本で誕生した伝統芸能です。なぜ、あのようにゆっくりと大げさに動き、なぜあのように真っ白に顔を塗るのか、なぜ男性ばかりで演じられるのか、不思議に思われたことがあるかもしれません。「知らざあ言って聞かせやしょう」、皆さんの疑問ポイントをすべて解き明かしましょう。日本の古典芸能をもっと知りたくなります。
ゼロから学ぶ『源氏物語』	井内 健太 (日本中古文学)	日本文学の最高峰として世界にも名高い作品が『源氏物語』です。しかし、知名度の割に多くの方が高校の授業で触れる程度なのは残念です。読みやすくないですが、じっくり読むとこんなに面白い物語はありません。そんな『源氏物語』の世界と魅力についてわかりやすくお話しします。

講座名	講師名（専門分野）	授業概要
「中華風」って何だろう？——文化表現としての中国イメージ	上原 かおり (中国近現代文学・文化)	ゲームやアニメ、映画などで見かける「中華風」の世界。私たちはなぜそれを「中国らしい」と感じるのでしょうか。その「らしさ」は、どこにあるのでしょうか。本講義では、「中華風」と呼ばれる表現に注目し、その特徴や成り立ちを考えます。あわせて、翻訳にも触れながら、言葉がどのようにイメージを形づくるのかについても考えていきます。
天神様の漢詩	宋 唵 (和漢比較文学)	天神様である菅原道真(845～903)の漢詩を読みます。なぜ菅原道真は、学問の神様と呼ばれ、学生のみなさんの受験を加護できるのでしょうか？それは、菅原道真が生前、大変優れた学者だっただけでなく、日本漢詩を代表する大詩人だったからです。日本漢詩の世界を、道真の漢詩を入り口にして入ってみましょう。
三国志の詩人たち	宋 唵 (和漢比較文学)	三国時代の漢詩を読みます。曹操は傑出した將軍であるだけでなく、詩人でもありました。そして、彼のもとには英雄豪傑以外にも、建安七子という同時代の文学者が集まっていました。曹操を中心に、漢詩のおもしろさに迫ります。
韓国語と韓国文化	金 香男 (現代韓国研究・家族社会学)	K-POP の世界的なブームとともに、需要が高まる韓国語。一見難しそうに見える「ハングル」ですが、とても合理的で読みやすい文字です。授業では、世界が熱狂する K カルチャーの魅力について一緒に考えてみます。また短時間のワンポイントレッスンでは、「すぐに話せる・使える韓国語」のコツを伝授します。
文学の「形式」を読む —日本の小説の話法を例に	平井 裕香 (日本近現代文学)	「先生の遺書」というパートが有名な夏目漱石の『こころ』、遺書が学生の立場から要約されているだけだったら、印象が大きく変わりませんか？ 人物の言葉や声をどれほど「そのものらしく」書くか、すなわち話法の選択が、日本の近現代小説で担っている意味を探り、文学の内容に加えて形式を読む力をつけます。
川端康成と現代小説	平井 裕香 (日本近現代文学)	近代の有名な文豪たちが、現代のマンガやアニメにキャラクターとして「生きて」いることは広く知られていますが、彼らの過去の小説が後の時代の小説に、しばしば変化を加えられ、「生かされて」いることも少なくないです。そうした小説間の対話に、川端康成を例に迫ります。

音楽・身体表現

講座名	講師名（専門分野）	授業概要
ことばと音楽 ソングライティング ～西洋音楽歌ものがたり 祈る・歌う・音を紡ぐ～	次郎丸 智希 (芸術学・作曲・編曲)	神への祈り、秘めた想い、人はあらゆる気持ちを言葉にし、音楽に乗せて歌にしてきました。西洋音楽における歌の変遷を見ることで、人生に寄り添う「うた」の魅力に迫ります。そして皆さんも、自分の心にある思いを、是非歌にしてみませんか。ことばと音楽をめぐる、「作曲のススメ」講座です。
コミュニケーション手段としての身体って？	高橋 京子 (舞踊学・スポーツ人類学)	人間は言葉だけでなく、身体全体を用いてコミュニケーションをとっています。例えば、誰かと話しているとき相手の目線が気になったことはありませんか。あるいは相手の沈黙が気になったことはありませんか。これらの「ことばならざることば」について考えます。
ダンスの東西	高橋 京子 (舞踊学・スポーツ人類学)	皆さんのご近所でおこなわれる盆踊りをはじめとする日本の民俗舞踊、インドの伝統的なダンス、ヨーロッパのクラシックバレエなど、世界にはいろいろなダンスが存在します。様々な東洋と西洋のダンスについての歴史を知り、それらの共通点についてお話します。
歌と演技を通じて、コミュニケーションについて考えてみよう！	土屋 広次郎 (声楽全般(オペラ・歌曲・宗教曲・合唱))	表情と姿勢を意識して表現するノンバーバルコミュニケーションについて考え、ポップスはもちろん、ミュージカルやオペラの歌唱演技を通じて「表現とは何か」を楽しく学んでみませんか？プロを目指さなくても日常の「演技」からパラ言語を自覚すると、結構発見があります！

講座名	講師名（専門分野）	授業概要
社会を音の側面から捉える、サウンドデザインの世界	中西 宣人 (楽器デザイン、サウンドデザイン)	スマートスピーカー、家電、車など、現代の我々の生活環境は様々な音で溢れています。これらの音一つ一つにその音のデザインになった理由が隠されています。近年の音のデザインに関する事例を参照しながら、皆さんの身の回りにある音について考えてみましょう。
「アート」に関わるお仕事入門	船越 理恵 (芸術実践、音楽事業創造、音楽キャリアデザイン)	「アート」に関わるお仕事というと、創作や表現活動を自らが行うアーティストや作家の活動を思い浮かべるかもしれませんが。しかし実際の芸術文化の現場には、多種多様な職種が存在し、それぞれが協力し、専門性を発揮していくことで、唯一無二のパフォーマンスや作品を創り上げています。音楽やダンス、美術や映像、詩や小説といった、アートに対する興味関心、好きな気持ちをキャリアにつなげて考えてみませんか。

PA（パフォーミングアーツ）

講座名	講師名（専門分野）	授業概要
声楽クラス授業 / 声楽公開レッスン	土屋 広次郎 (声楽全般(オペラ・歌曲・宗教曲・合唱))	合唱はもちろん、オペラや声楽曲だけでなく、ミュージカルやポップスを歌唱し、様式や発声法の違いにポイントを置き、歌う楽しさや基本をお伝えします。クラス授業だけでなく、公開レッスン形式の授業のリクエストも歓迎です！

CLA（全学教養教育機構）

講座名	講師名（専門分野）	授業概要
宗教とジェンダー 日常の「なぜ」を宗教×ジェンダーで解きほぐす	渡邊 さゆり (キリスト教神学、旧約聖書学)	「宗教は怖い」と思う人も多いかもしれません。でも、年中行事やマナー、当たり前だと思っている「男らしさ／女らしさ」のイメージには、宗教の考え方が意外と入り込んでいます。この授業では、仏教、イスラム教、キリスト教を例に、宗教が性役割にどんな影響を与えてきたのかを、身近な話題から一緒に考えます。